

鶴見岳・伽藍岳の火山活動解説資料（平成 28 年 4 月）

福岡管区气象台

地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 4 月の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

鶴見岳監視カメラ（大分県）による観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2）

火山性地震の月回数は 26 回と増加しましたが（3 月：なし）、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の地震が鶴見岳・伽藍岳付近でも発生していることが影響していると考えられます。
火山性微動は 2012 年 1 月の観測開始以降、観測されていません。

・地殻変動の状況（図 3、図 4）

GNSS¹⁾ 連続観測では、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」による影響で基線長に大きな変化が認められています。このため、地震発生以降の状況は判断できませんが、地震発生以前には火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 鶴見岳・伽藍岳の状況
（4 月 26 日、鶴見岳監視カメラ（大分県）による）

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 5 月分）は平成 28 年 6 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所、大分県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

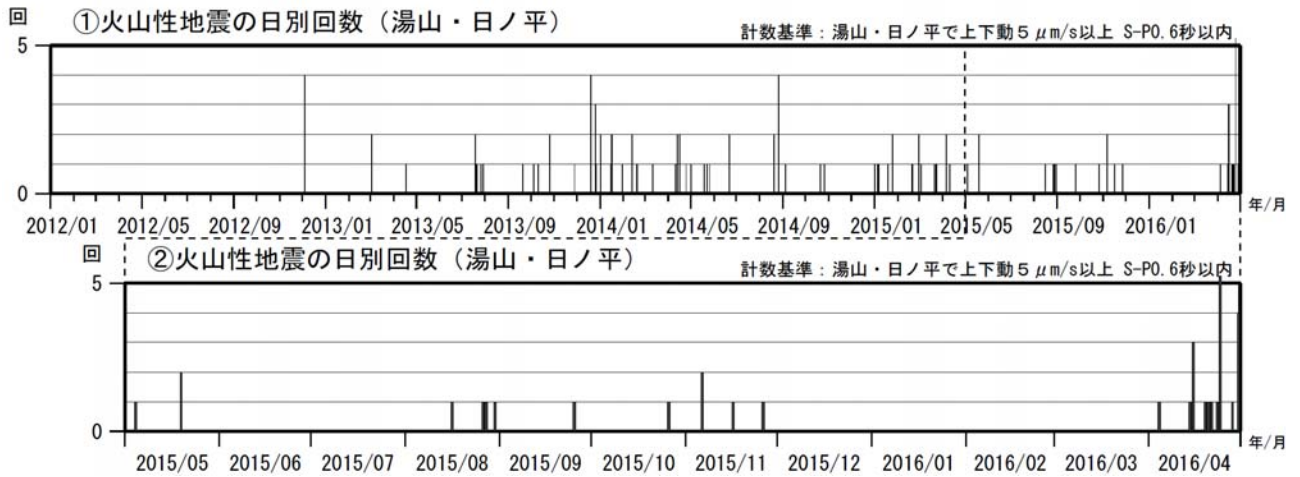


図 2 鶴見岳・伽藍岳 火山性地震の日別回数（2012 年 1 月～2016 年 4 月）

< 4 月の状況 >

- ・火山性地震の月回数は 26 回と増加しましたが（3 月：なし）、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の地震が鶴見岳・伽藍岳付近でも発生していることが影響していると考えられます。
- ・火山性微動は 2012 年 1 月の観測開始以降、観測されていません。

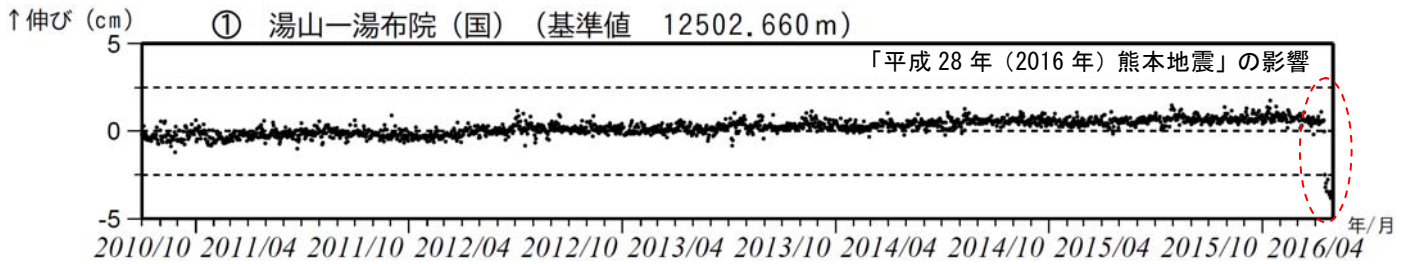


図 3 鶴見岳・伽藍岳 GNSS連続観測による基線長変化（2010 年 10 月～2016 年 4 月）

GNSS連続観測では、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」による影響（赤破線丸）で基線長に大きな変化が認められています。このため、地震発生以降の状況は判断できませんが、地震発生以前には火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この基線は図 4 の①に対応しています。

（国）：国土地理院

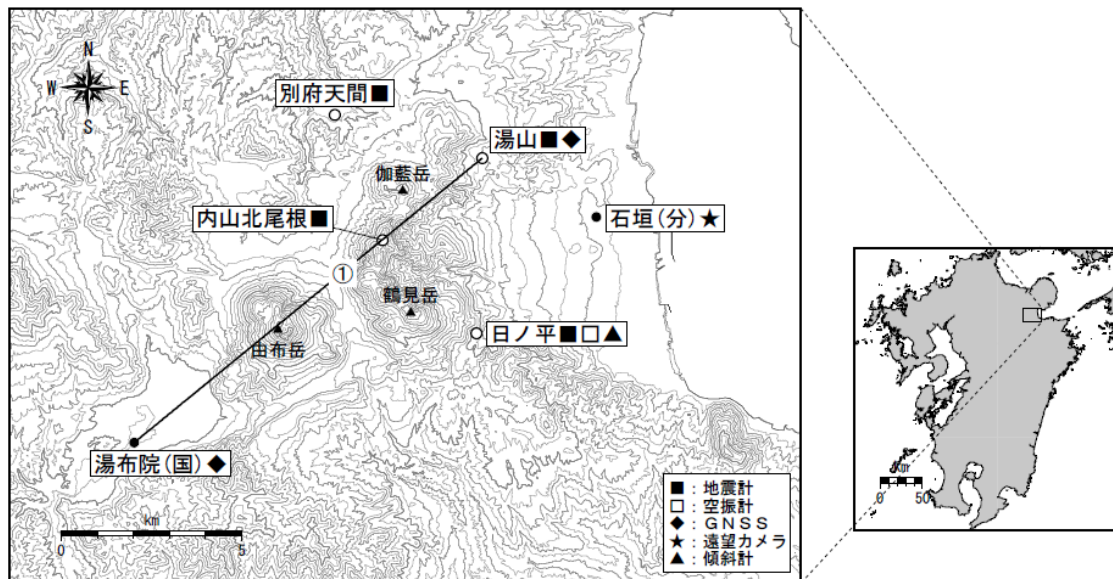


図 4 鶴見岳・伽藍岳 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院、（分）：大分県

遠望観測点「石垣（分）」は鶴見岳監視カメラ（大分県）を示しています。